

第46期 中間株主通信

2017年1月1日 ▶ 2017年6月30日



商空間の創造を通じて 豊かな社会の実現に貢献します

SPACE



代表取締役会長
加藤千寿夫

代表取締役社長
若林弘之

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第46期第2四半期累計期間（2017年1月1日から2017年6月30日まで）を終了いたしましたので、その概要をご報告いたします。

当社を取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善が続くなか、企業収益の改善を背景に設備投資にも持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で当社の主要顧客であります小売業界におきましては、個人消費の節約志向が続くなか、業種・業態を超えた企業間競争の激化など、お客様の事業環境は大きく変化しており、

予断を許さない状況が続いております。

このような状況の下、当社は中期経営計画に基づき、安定した利益を確保するため、収益性及び生産性の向上を目的とした社内体制の整備・強化を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は258億19百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益は20億23百万円（同27.8%増）、経常利益は20億17百万円（同27.5%増）、四半期純利益は13億74百万円（同53.7%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

配当金について

当事業年度の1株当たり中間配当金は、普通配当25円とさせていただきます。

2017年度の業績予想

(2017年1月1日～2017年12月31日)

売上高	50,100 百万円	前事業 年度比 101.7%
-----	-------------------	--------------------------

営業利益	3,600 百万円	前事業 年度比 106.9%
------	------------------	--------------------------

経常利益	3,600 百万円	前事業 年度比 107.1%
------	------------------	--------------------------

当期純利益	2,400 百万円	前事業 年度比 110.6%
-------	------------------	--------------------------

2017年度の配当予想

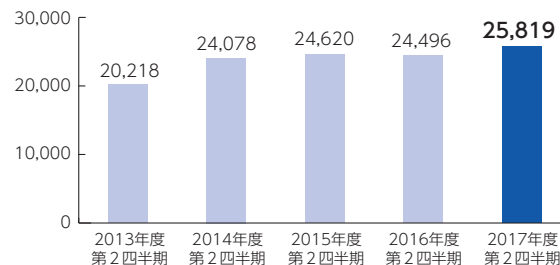
2017年度の配当金につきましては、内部留保の充実による経営基盤の強化を目指す一方、収益力の一層の向上と財務体質の強化を図り、安定配当を維持することを基本とし、株主の皆様へ利益還元を心掛けることを方針としております。この方針にしたがい、2017年度の年間配当金は1株当たり50円(中間25円、期末25円)を予定しております。

年間配当金 **50**円
(中間25円・期末25円)

業績の推移

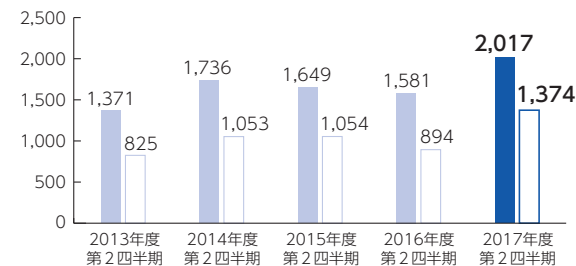
■ 売上高

(単位：百万円)



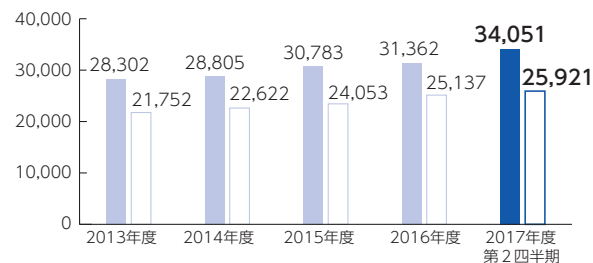
■ 経常利益 □ 四半期純利益

(単位：百万円)



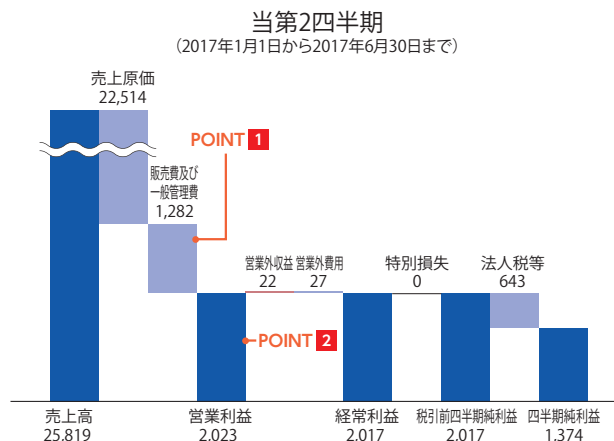
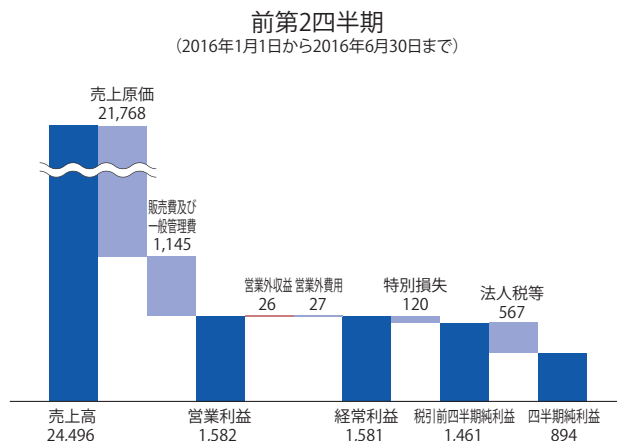
■ 総資産額 □ 純資産額

(単位：百万円)



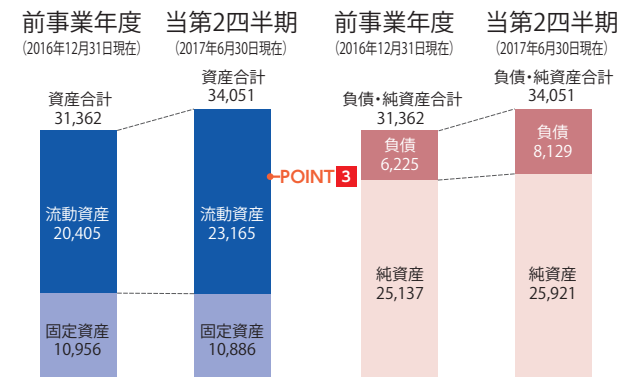
損益計算書より

(単位:百万円)



貸借対照表より

(単位:百万円)

**POINT 1** 販売費及び一般管理費

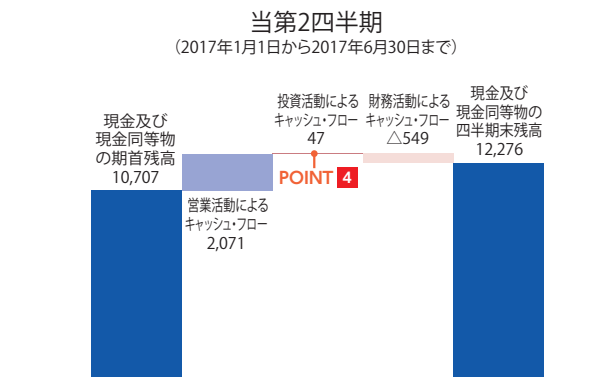
従業員採用による労務費やシステム関連投資・教育研修費の増加により、前年同期と比べ1億36百万円増加の12億82百万円となりました。

POINT 2 営業利益

売上原価や販売費及び一般管理費の増加がありましたが、売上高の増加により、前年同期と比べ4億40百万円増加し、20億23百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)

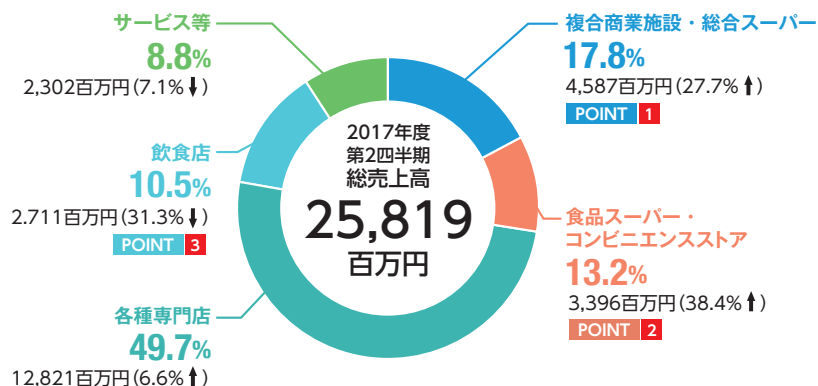
**POINT 3** 流動資産

現金及び預金が14億49百万円、完成工事未収入金が4億57百万円、未完成工事支出金が9億40百万円増加したことにより、前期末と比べ27億59百万円増加し、231億65百万円となりました。

POINT 4 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得により42百万円、無形固定資産の取得により26百万円を支出したものの、定期預金の払戻による収入が1億20百万円あったことにより、47百万円の収入(前年同期は7百万円の収入)となりました。

市場分野別 売上高構成比



POINT 1

複合商業施設・総合スーパー分野では、消費者ニーズの変化に対応した既存店活性化の取り組みが強化されたことにより、改装による受注が増加いたしました。

POINT 2

食品スーパー・コンビニエンスストア分野では、店舗再編の動きが活発化したこと等により、改装による受注が増加いたしました。

POINT 3

飲食店分野では、原材料価格の上昇や人手不足によるコスト上昇等から出店抑制の影響を受け、受注が減少いたしました。

サービス等

ホテルグレイスリー京都三条 コンセプトルーム

2017/5/1 OPEN

クライアント：藤田観光株式会社様

所在地：京都府京都市



飲食店

ヴィレージヴァンガード ダイナー原宿

2017/1/20 OPEN

クライアント：株式会社ヴィレージヴァンガードコーポレーション様

所在地：東京都渋谷区



複合商業施設・総合スーパー

LECT

2017/4/28 OPEN

クライアント：株式会社イズミ様

所在地：広島県広島市



食品スーパー・コンビニエンスストア

ハローデイ徳力本店

2017/7/6 OPEN

クライアント：株式会社ハローデイ様

所在地：福岡県北九州市



各種専門店

崙 KURA HOLIC

2017/3/25 OPEN

クライアント：株式会社ヒマラヤ様

所在地：岐阜県岐阜市



米原市所有のゴルフ場をグランピング*施設へコンバージョン

GLAMP ELEMENT

地方自治体が所有する行政財産を有効活用し、その発展に寄与することを目的としたプロジェクト事例をご紹介します。



2017/6/3 OPEN

クライアント：奥伊吹観光株式会社様

所在地：滋賀県米原市

担当部署：名古屋第3本部 営業9部／営業11部
商環境研究所(名古屋) クリエイティブ企画室

※グランピングとは

グラマラス(Glamorous＝魅力的な)とキャンピング(Camping)を掛け合わせた造語で、テント設営や食事の準備をすることなく、自然に囲まれたロケーションに用意された贅沢で快適な宿泊設備で野営すること。キャンプの醍醐味と、シャワールーム・トイレ・空調設備・ソファ・ベッド等を揃えたホテル並みの快適さを両立させた、アウトドアのスタイル。

プロジェクト概要

滋賀県米原市が所有するアウトドアレジャー複合公園「グリーンパーク山東」内に、大型グランピング施設「GLAMP ELEMENT」(グランエレメント)がオープンしました。既存用途のゴルフ場では来場者の減少という課題を抱えていましたが、指定管理会社である奥伊吹観光様の「ゴルフをするにはマイナス要素となる池を、カヌー遊びの場という魅力あるものに変えたい」という逆転の発想に共感し、その魅力を再発見してこうとプロジェクトはスタートしました。当社が長年商空間づくりで培ったノウハウとネットワークを活かし、奥伊吹観光様とともに立地環境の調査、国内類似施設の分析を行い、コンセプトメイキングおよびマスタープラン、デザイン設計、内装工事からインテリアのトータルコーディネート、運営面まで務めさせていただきました。

コンセプト

伊吹山を背景とする豊かな自然、既存の芝やナイター設備等を最大限に活かした「ここにしかない価値の提案」を目指しました。また、中部・近畿エリアから短時間でアクセスできる立地を活かし、週末の仕事帰りでも気軽に行けて、星を見ながらお酒が楽しめる、「夜を楽しむグランピング」というコンセプトを立てました。

2万平方メートルの敷地に、わずか10室の客室を贅沢に配置することでプライベート空間を確保し、ゆったり過ごせるよう計画。また、グランピング発祥の地であるイギリスを施設デザインのテーマにし、ラグジュアリーな大人のアウトドア空間を演出しています。各テントやキャビン、共用棟の家具や備品、小物等のディスプレイは、当社のデザイナーが買い付けからコーディネートまでこだわり抜いたインテリアで演出しており、つい写真を撮ってSNSへ投稿したくなるようなお洒落で贅沢なキャンプ施設となっています。

オープン後の反響

マスコミ取材など予想以上の反響があり、客室稼働率はほぼ100%、3ヵ月先まで予約で一杯の状況です。既存施設を新しい価値へと転換し、人が集まる魅力的な場所にすることで、米原市および滋賀県の発展に寄与できる施設となったのではないかと自負しております。工事は2期以降も計画され、最終総面積約4万平方メートルの県内最大級のグランピング施設として完成を迎える予定です。

各種デザインアワード 受賞報告

- 第51回 日本サインデザイン賞（公益社団法人 日本サインデザイン協会主催）
入選：14件
- DSA日本空間デザイン賞2017（一般社団法人 日本空間デザイン協会主催）
ベスト50：「十六銀行 岐阜中央支店川原町出張所」
入選：12件
- JCDデザインアワード2017（一般社団法人 日本商環境デザイン協会主催）
ベスト100：「水曜日のアリス 福岡」

写真：④十六銀行 岐阜中央支店川原町出張所
⑤水曜日のアリス 福岡



会社概要

- 商 号 株式会社 スペース (SPACE CO., LTD.)
 - 本 社 東京都中央区日本橋人形町三丁目9番4号
 - 設 立 昭和47年10月5日
 - 資本金 33億9,553万7,101円
 - 従業員 940名 (取締役14名、子会社出向者6名を除く)
 - 役 員
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 代表取締役会長 | 加藤千寿夫 | 取締役 | 川村 修三※ |
| 代表取締役社長 | 若林 弘之 | 取締役(社外) | 前川 弘美※ |
| 代表取締役専務 | 林 不二夫 | 取締役(社外) | 和田 良子※ |
| 常務取締役 | 岡島 昇 | 取締役(社外) | 田口 聡志※ |
| 常務取締役 | 清水 康史 | 執行役員 | 塚谷 光次 |
| 常務取締役 | 佐々木靖浩 | 執行役員 | 鈴木 孝雄 |
| 取締役 | 大藪由紀夫 | 執行役員 | 森田 昭一 |
| 取締役 | 兼子 正則 | 執行役員 | 片岡 純二 |
| 取締役 | 林 顕 | 執行役員 | 武内 浩之 |
| 取締役 | 菊池 利夫※ | 執行役員 | 庄村 香史 |

※の者は、監査等委員である取締役であります。

当社ウェブサイトのご紹介

ウェブサイトをリニューアルしました。最新の実績紹介のほか、ニュースリリースやIR情報など、情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

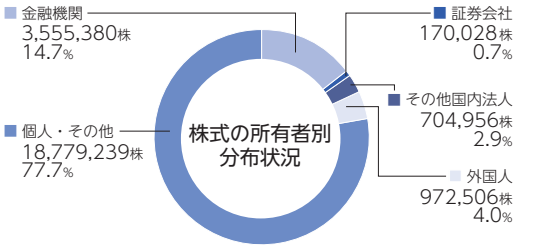
<http://www.space-tokyo.co.jp/>

株式の状況

- 発行可能株式総数 40,669,200 株
- 発行済株式の総数 21,969,417 株
(自己株式数2,212,692株を除く)
- 株主数 4,852 名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
スペース従業員持株会	2,634,943	12.0
加藤千寿夫	1,531,900	7.0
スペース取引先持株会	1,272,440	5.8
若林 弘之	1,022,200	4.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	620,040	2.8
高津 伸生	579,180	2.6
若林 幸子	549,200	2.5
後藤 廣高	516,000	2.3
高津久仁枝	507,303	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	485,000	2.2

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 その他必要があるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告した一定の日
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。